

平成30年3・4月ごみ収集カレンダー

* 隔月発行です。

3月		月	火	水	木	金	土・日	4月		月	火	水	木	金	土・日
		2/26	27	28	3/1	2	3・4			4/2	3	4	5	6	7・8
集積場	(月・木コース)	可燃物			可燃物		X	集積場	(月・木コース)	可燃物		カン・金属類	可燃物		X
	(火・金コース)		可燃物			可燃物			(火・金コース)		可燃物				
リサイクル・ステーション			プラスチック	資源ビン ガラス・くずビン類 陶磁器類	ペットボトル	プラスチック		リサイクル・ステーション			プラスチック		ペットボトル	プラスチック	
		5	6	7	8	9	10・11			9	10	11	12	13	14・15
集積場	(月・木コース)	可燃物			可燃物		X	集積場	(月・木コース)	可燃物			可燃物		X
	(火・金コース)		可燃物	カン・金属類		可燃物			(火・金コース)		可燃物				
リサイクル・ステーション			プラスチック		ペットボトル	プラスチック		リサイクル・ステーション			プラスチック	資源ビン ガラス・くずビン類 陶磁器類	ペットボトル	プラスチック	
		12	13	14	15	16	17・18			16	17	18	19	20	21・22
集積場	(月・木コース)	可燃物			可燃物		X	集積場	(月・木コース)	可燃物		カン・金属類	可燃物		X
	(火・金コース)		可燃物			可燃物			(火・金コース)		可燃物				
リサイクル・ステーション			プラスチック	資源ビン ガラス・くずビン類 陶磁器類	ペットボトル	プラスチック		リサイクル・ステーション			プラスチック		ペットボトル	プラスチック	
		19	20	21	22	23	24・25			23	24	25	26	27	28・29
集積場	(月・木コース)	可燃物		春分の日	可燃物		X	集積場	(月・木コース)	可燃物			可燃物		X
	(火・金コース)		可燃物			可燃物			(火・金コース)		可燃物			可燃物	
リサイクル・ステーション			プラスチック		ペットボトル	プラスチック		リサイクル・ステーション			プラスチック	資源ビン ガラス・くずビン類 陶磁器類	ペットボトル	プラスチック	昭和の日
		26	27	28	29	30	31・4/1			30	5/1	2	3	4	5・6
集積場	(月・木コース)	可燃物			可燃物		X	集積場	(月・木コース)	可燃物		カン・金属類	憲法記念日 みどりの日 こどもの日	X	
	(火・金コース)		可燃物			可燃物			(火・金コース)		可燃物				
リサイクル・ステーション			プラスチック	資源ビン ガラス・くずビン類 陶磁器類	ペットボトル	プラスチック		リサイクル・ステーション			プラスチック				
古紙・布類	地区	収集日													
	田丸	毎週木曜日													
	有田														
	外城田	毎週金曜日													
下外城田															

●集積場のルールを守りましょう

缶・金属のカゴに資源ビンが混入しています！資源ビンは貴重な資源です。きちんと分別しリサイクルステーションに出してください。

●4月30日(振替休日)は可燃ごみを収集します！

4月30(月)は月・木コースの可燃ごみ収集を通常どおり実施致します。

また、伊勢広域環境組合清掃工場では、粗大ごみ等直接搬入の受け入れを致します。(開場時間8:30~16:45)

●スプレー缶・カセットボンベの処理について

スプレー缶・カセットボンベ等の穴あけは不要です。

必ず使い切ってから、穴を開けずにそのまま出して下さい。

(他県では自宅での処理により、発火・爆発などの事故が発生しています。)



資源ビンはリサイクルステーションへ!!



奥山衛生(株)
 (有)度会玉城衛生
 伊勢広域環境組合清掃工場
 玉城町役場生活福祉課

TEL 58-2722
 TEL 58-4649
 TEL 37-1218
 TEL 58-8203



(減らす)(再利用)(再生利用)

裏面もぜひご覧ください!!

平成29年度ごみの組成(内訳)調査

ごみ減量化のため、収集した燃やせるごみの組成調査を行いました。



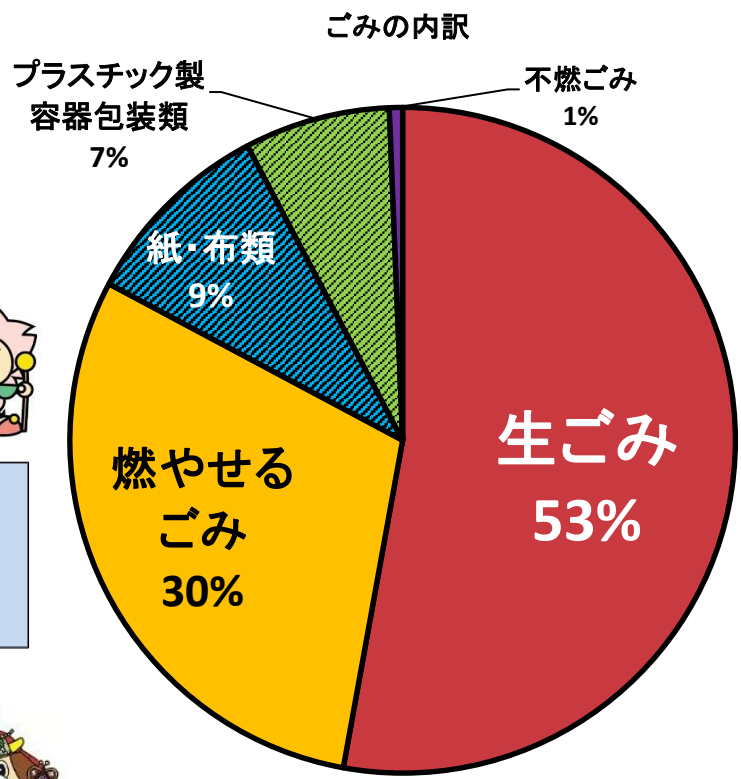
ごみの53%は生ごみで、食べ残しや未利用食品がたくさん含まれていました。

消費期限を確認し、無駄なく食品を使い切りましょう！



資源ごみ(紙・布類やプラスチック製容器包装類)が16%含まれていました。

分別を徹底することで資源としてリサイクルすることができます！



食べ残しや未利用食品、資源ごみが全体の35%を占めていました。食品ロスを減らし資源ごみを分別することで、ごみの減量化ができます。ごみの減量は処理費用の抑制にもつながりますので、皆様のご理解とご協力をお願いします！